



2021年12月23日

各位

会社名 株式会社 自重堂
代表者名 代表取締役社長 出原 正信
(コード番号 3597 東証第二部)
問合せ先 常務取締役業務本部長
富山 英朗
(TEL. 0847-51-8111)

新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書

当社は、2022年4月に予定される株式会社東京証券取引所の市場区分の見直しに関して、スタンダード市場を選択する申請書を提出いたしました。当社は、移行基準日時点（2021年6月30日）において、当該市場の上場維持基準を充たしていないことから、下記のとおり、新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書を作成いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の移行基準日時点におけるスタンダード市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりとなっており、流通株式比率については基準を充たしておりません。当社は後述の施策を実施することで、流通株式比率に関し、上場維持基準を充たす所存です。なお、計画期間については、2024年6月期末までといたします。

	株主数(人)	流通株式数 (単位)	流通株式時価 総額(億円)	流通株式比率 (%)
当社の状況 (移行基準日時点)	1,181人	6,959単位	49億円	21.5%
上場維持基準	400人	2,000単位	10億円	25.0%
計画書に記載の項目				○

※当社の適合状況は、東証が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

2. 上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針、課題及び取組内容

(1) 基本方針

上記の結果に基づき、当社は、流通株式比率改善のため、当社が保有する自己株式の活用を検討するとともに、当社株式を保有している株主（特に国内の普通銀行、保険会社等）に対し、各社が保有する当社株式の売却を要請し、流通株式比率の改善に努めてまいります。

(2) 課題

当社は、株式の流動性が低いことを課題と捉え、特に金融機関の株主様に対して、引き続き協力関係を維持しつつ当社株式の売却を要請する等、流通株式の増加に取り組んでまいります。

(3) 取組内容

流通株式比率改善のため、当社が保有する自己株式の活用を検討するとともに、当社株式を保有している金融機関の株主様と対話を行い、各社が保有する当社株式の売却を要請し、当社株価への影響を考慮しながら、市場に流通する株式数を増加させることを検討してまいります。

更に、当社株式の流動性向上及び個人株主の増加に向け、株主・投資家の皆様との長期的な信頼関係の構築・発展のために、決算説明資料の充実、ホームページ等を活用して、財務情報に加え、当社商品の魅力や、それを生み出す当社の商品開発力、組織力を積極的に発信し、株式会社自重堂の認知度の向上による個人投資家の裾野拡大など、広報活動と連携してIR活動の促進・強化を図り、投資判断に必要な企業情報を迅速、正確かつ公平に提供してまいります。また、IR活動で得られた株主・投資家からのご要望・ご意見を企業経営に活かし、持続的な企業価値向上に努めてまいります。

なお、計画期間につきましては、今後売却を要請する株主様との対話並びに株主様による当社株式売却の進捗状況や、マーケット状況等外部環境も加味し、2024年6月期末までを目標といたします。

以 上